

「麒麟」既刊分総目録

創刊号

創刊の辞

17世紀—「麒麟」創刊によせる—

北澤 義弘

ローベルト・ムージルの『特性のない男』発刊によせて

加藤 二郎

17世紀フランスが垣間見ていた日本

大場 恒明

第二の覚醒

竹内佑利子

—アボリジナル口頭伝承の17世紀—

『正風発句大概』雑考

復本 一郎

第2号

神、いよよ遙けく、晋ねく、冷厳なるもの

北澤 義弘

「蟬と蟻」考—落穂拾いのように—

大場 恒明

スペイン黄金世紀文学と日本

野間 一正

蘇った「こだま伝説」

竹内佑利子

—アボリジナル口伝とライトソンの文学—

真珠のメタファー—あるいはバロック的なものについて

加藤 薫

中国の女性神とその芸能

廣田 律子

蕪村『新花摘』創作意識の謎

復本 一郎

〔書評〕

炯眼による生の断層撮影

早坂 七緒

—新訳『特性のない男』第1巻（加藤二郎・訳、松籟社）

ローベルト・ムージル年譜

加藤 二郎

—『特性のない男』に重心をおいて—

第3号 北澤義弘先生御退任記念特集号

私の来歴と展望

北澤 義弘

北澤義弘先生に捧げる

竹内佑利子

*

タイムマシン欧州周航

北澤 義弘

北澤義弘先生に送る「私的翻訳児童文学論」

百々佑利子

*

二つの自然観—芭蕉とワーズワス

上島 建吉

ドン・フワン 断層（1）

大場 恒明

中国・江西省の追儺行事

廣田 律子

『おくのほそ道』における表記

復本 一郎

「俳諧」に関する一考察

第4号 加藤二郎先生御退任記念特集号

加藤二郎先生略年譜・業績目録

精緻にして しなやかな感性

—加藤二郎先生を送る—

大場 恒明

*

ローベルト・ムージル

加藤 二郎

芭蕉俳句・良寛俳句に関する小さな発見

復本 一郎

—加藤二郎先生に捧ぐ—

「アリス」から「アリツィニャ」へ

百々佑利子

真珠のメタファー その2

加藤 薫

追儺儀礼の中の呪文

廣田 律子

*

敬愛する上島建吉先生へ

金谷 良夫

〔特別寄稿〕シネラリア

北澤 義弘

第5号

- 『羅生門』とcasuistica 大場 恒明
—パスカルおよびドストエフスキーとの関連において—
〈句案〉考 復本 一郎
調査ノート 雛神の誕生日 廣田 律子

*

- JAPANESE EDITIONS OF CHILDREN'S BOOKS Yuriko Momo
FROM THE ENGLISH SPEAKING WORLD
Trisram Shandyにおける時間とSterneの意匠 榎本 誠
—マルチメディア小説—
—盲象を撫でる— 野間 一正
《イサベル女王の時祷書2つ》

第6号

- 征服者の聖母から平和の聖母へ 加藤 薫
—ラ・コンキスタドーラの遍歴—
ドン・フワン断層(2) 大場 恒明
「不条理の人」—アルペール・カミュの場合
マーク・トウェインのユーモア—「跳び蛙」 金谷 良夫
「菫は山によまず」の真意 復本 一郎
—『去来抄』の一考察—
資料紹介・中国民間の仮面 廣田 律子
(1) 鶏嘴面・猪嘴面

第7号

アンデスの人魚（研究ノート）

加藤 薫

新資料紹介・翻刻と考証

復本 一郎

芭蕉判『十八番発句合』の新出写本

資料紹介・中国民間の仮面

廣田 律子

（2）花関索面

日本人は「NO」と言えないか

坂本 恵

第8号 野間一正先生御退任記念特集号

野間一正先生略年譜・業績目録

最後の「大学人」―野間一正先生を送る―

大場 恒明

*

サンティアゴ―思いつくまま―

野間 一正

ハバナの16世紀―キューバ植民地時代建築史断章―

加藤 薫

『おくの細道』における登場人物「等窮」の表記の問題

復本 一郎

―小林孔氏説を視野に入れつつ―

資料「パルイエットー

百々佑利子

―西オーストラリア先住民の伝説―

*

資料紹介 莆仙戯『木蓮救母』

訳・廣田 律子

「ありがとう」と「すみません」

坂本 恵

マーク・トウェインの2面性

金谷 良夫

「ミカド」と「ゲイシャ」

小澤 幸夫

―シュニッツラーの観たオペレッター―

第9号

「がらさみちみちたんもにまるや様」
エミール・ヴェルハーレンと上田敏
ヘミングウェイ生誕百周年について
鬼貫『東海道旅日記』と芭蕉

野間 一正
大場 恒明
加藤 薫
復本 一郎

*

「説唱芸能〈唱南游〉の語り」

訳・廣田 律子

「ご〈漢語〉して下さる」「ご〈漢語〉される」等の誤用について 坂本 恵

第10号

明治期におけるおけるエミール・ヴェルハーレン移入
その後の「アンデスの人形」(フィールド研究ノート)

大場 恒明
加藤 薫

*

「説唱芸能〈唱南游〉の語り」続編Ⅰ

訳・廣田 律子

「言葉の乱れ」をどう考えるか

坂本 恵

第11号

大正期におけるエミール・ヴェルハーレン移入(1)

大場 恒明

ガウディ生誕150周年

鳥居 徳敏

「怪傑ゾロ」の研究事始

加藤 薫

嫌われた子規選集

復本 一郎

—白石南竹編『俳人子規』の顛末—

「説唱芸能〈唱南游〉の語り」続編Ⅱ

訳・廣田 律子

「ブラームスはお好き？」

小澤 幸夫

—ヘルマン・ヘッセの場合

『トム・ソーヤ』のユーモア

金谷 良夫

第12号

大正期におけるエミール・ヴェルハーレン移入(2)

大場 恒明

—三富朽葉、口語自由詩など—

北斎と九鬼藩川村平右エ門家

加藤 薫

出自説についての一試論

川村 兼章

「説唱芸能〈唱南淤〉の語り」 続編Ⅲ

訳・廣田 律子

第13号

大場恒明先生経歴・研究歴

大場先生ご定年に際して——贈る言葉

榎本 誠

*

金子光晴とブリュッセルを歩く

大場 恒明

兔裘の『嚙麓廻葉』と子規の『癩祭書屋俳話』

榎本 一郎

*

「麒麟」既刊分総目録

『海遊記』Ⅰ

訳・廣田 律子

ナバホの神話と砂絵研究序論(研究ノート)

加藤 薫

英語、英語習得、そして和製英語に見る一視点

金谷 良夫

“Stufen”について

小澤 幸夫

ヘッセ兄弟の思い出—ブルーノ氏とハイナーを偲んで

小澤 幸夫

グロテスクgrotesqueとロカイユrocaille

鳥居 徳敏

—建築における洞窟空間の系譜—